

# 輝 ねむろ

We Love Nemuro!



みんなの心に残る演奏がしたい

「僕がピアノを続けてこれた原動力は、母が励まし続けてくれた事と、自分のピアノを聴いて感動し、涙を流してくれた人たちがいたからです。」と真剣なまなざしで話してくれたのは、国内最大級のピアノコンクール「第37回ピティナ・ピアノコンペティション」のF級ソロ全国大会に初出場した佐藤史希くんです。

史希くんは、4歳からピアノを始め、1台のピアノを2人で弾く連弾で2度の全国大会出場経験があり、2年前には中級の部で全国2位に輝いています。今回一人での全国出場については「いつもより緊張しましたが、大舞台上で演奏できて幸せだった」と表情を緩めていました。

現在、自宅での練習に加え、月に2から3回札幌のピアノ教室へ通っています。「札幌へ行くことは、とても楽しみです。遠くで大変ですが、そこまでしても頑張りたいと今は思っています。」と真剣に話す一方、ピアノ以外に好きなことを尋ねると、「パソコンのゲームです。」と、ほにかむ姿は華麗にピアノを演奏する男性ではなく、普通の男子高校生でした。

「これからも、練習を積んで、来年は全国大会の上位を目指したいです。」と、話すその目は、輝いていました。



「ジュニアアンサンブル・ねむろ」にてピアノを披露する史希くん

profile **さとう しき** 佐藤史希くん  
根室高等学校1年生

1997年根室生まれ、2003年初めてピティナソロ部門挑戦、2010年恩師の勧めで別海在住の1つ先輩とデュオを組み連弾中級にて全国大会出場、2011年同デュオで2年連続全国大会出場2位獲得、2012年ソロ部門E級（高校1年以下）北日本道東地区本選出場、2013年ソロ部門F級（高校3年生以下）北日本道東地区本選優勝、全国大会出場

## 千島桜を望む窓

### 市長室のカレンダー

9月8日は、根室の秋の味覚を代表する「2013かに祭り」の最終日と、2020年の「東京五輪」誘致に成功した日。納沙布岬は、小雨混じりの曇り空ながら、3・7kmの貝殻島灯台や歯舞群島がくっきり見えたこの日に、自由民主党の石破幹事長が来根し、納沙布岬から北方領土を視察した後、北方四島交流センター（ニホロ）で元島民らと懇談しました。

懇談会場となったニホロで、石破幹事長は、「この政権下で、領土問題を東京五輪開催までにめどをつけられるようしたい。そして、根室を発展させることは、国家全体が考えることであり、それが領土問題を所管する政府の使命である。この安倍政権の間に、前進するよう緊張感をもって当たって行く。」と述べました。

長谷川市長は、「領土問題が戦後68年を経過して今なお、ロシアの実効支配が続いている北方領土問題。領土問題は、国家の主権と民族の尊厳をかけた問題であり、戦後残された最大の外交課題である。」と強く話しました。

本年4月に、10年ぶりとなる総理の公式訪問が実現し、平和条約の再スタートが合意され、安倍内閣発足以来、再び動きだした外交交渉。長谷川市長は、石破幹事長に安倍総理の北方領土視察についても強く要望しました。

